

# 大桑 第51号 無所属 まさたか



さかえく せかい か  
栄区から横浜を変える！

私たち市民が政治に参加する流れを作ります！

栄区から、しがらみのない政治を実現します！

市議員4年目  
よろしくお願いします！

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで！

## 公約

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞を配り続けます(情報公開)。
- 2、大桑まさたかの政治活動資金を公開し続けます。
- 3、私たち市民が政治に参加する流れをつくります(しがらみをなくす)。
- 4、子や孫のために持続可能な社会を作る！

## 本郷台駅前の横浜銀行の2階・3階！

平成19年2月5日(月)、本郷台駅前の横浜銀行の2階に「つどいの広場さかえ」が、3階に「さかえ区民活動センター」が開設します。

具体的に、2階の「つどいの広場さかえ」には障害者相談窓口や軽度発達障害児の放課後活動支援のための活動の場、そして子育て不安の解消のための子育てサロンが開設されます。また、3階の「さかえ区民活動センター」には生涯学習や市民活動など、すでに活動している方やこれから活動しようとしている方を支援する拠点で研修や印刷・作業室、そして相談・受付コーナーなどが開設されます。

今後、本郷台駅にお寄りの際には、横浜銀行の2階・3階を覗いて下さい！

## 大桑新聞

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

第51号(2月号)

発行元

「大桑正貴としがらみのない政治を実現する会」

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL&FAX : 045-892-5187

携帯電話 : 070-6511-1295

<http://m-okuwa.net/>

E-mail : [m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp](mailto:m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp)

1973年7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

2002年12月 派遣会社アシスト株式会社 退職

2003年4月 横浜市議員 初当選

若者政治家養成塾在籍(第1期生)

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻、子、ママ(猫)、グリ(犬)

(ママとグリはそれぞれの実家にいます)

ボランティア大募集！ TEL&FAX:045-892-5187

大桑と一緒にあって、泣いたり、笑ったり、喜んだりしてくれる人を募集しています。

討議資料

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅いずれかの駅で配布しております。

## 12月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成18年度12月現在の政務調査費累計残高は **-1,947円**です。

今回の使用金の内訳

郵便代	10,930円	書籍代等	4,938円
大桑新聞印刷代等	346,684円	文具費等	6,650円
勉強会代等	28,181円	新聞代	10,930円
通信費	26,227円	事務所費等	103,412円
交通費	94,430円	道路使用料(12月分)	4,000円

12月の支出合計は

**636,382円**です。

### 近況報告

第1回市会定例会が2月8日(木)～3月20日(火)で開催されると決定しました。この定例会のための本格的な勉強会が1月25日(木)から始まっています。前号でも書きましたが、今定例会は平成19年度の予算を決める議会になります！

### 持続可能な社会(環境や財政などすべてを含む)を作る！

今後、私が政治活動をしていく上で、表にある3つの公約とは別に、4番目の公約として「**持続可能**」という言葉を加えたいと思っております。

この持続可能という言葉が地球規模で考えると、我々人類がこの地球上においてすべての生物・植物と共に幸せに生きていける社会を作ることだと私は考えます。そしてこの「**持続可能**」という言葉が基に今の日本を見ると、まず1,000兆円を超えられている借金を抱えている財政の健全化が必要だと思えますし、年々深刻化する環境問題も何とかしなければいけません(例えば緑を守るための税金を特別に集めるなど)。また、横浜市も引き続き財政の健全化に努めなければいけませんし(まだ約6兆円もの借金があります)、緑はどんどん減っています(栄区の緑も確実に減っていますし、上郷高校周辺の森も開発される可能性があります)。このような所を見てもやはりこの横浜市にも「**持続可能**」という考え方は必要です。最後になりますが、国や市に借金が増えればしわ寄せが国民・市民にきますし(税金が上がるなど)、環境を守らなければ人が地球に住めなくなってしまいます。だから今回私は「**持続可能**」という言葉が公約に掲げることになりました！

### 議員定数

先月、横浜市の議員定数が国勢調査の結果に基づき現行通り92人となりました(磯子・金沢・旭が1名減、中・青葉・都築が1名増)。私は横浜市に限って言えば、議員数をこれ以上減らすべきではないと思っております。今回、横浜市議会の中でも議員数削減案が出ましたが、私は基本的には(私達議員の給料を減らしてでも)議員数は最低限現行通りでいくべきと考えています(もし経費削減のために議員数を減らすというなら思い切って議員数を半分位にした方が良いと思っております！)。現状では議員数が多いと言われる方もいるかもしれませんが、この4年間の私の実感では、これ以上議員数が減ると議会活動に支障を来しますし(横浜市や市役所などを見るには92人でも少ない位です)大桑新聞を作り・配る時間がなくなってしまう恐れがあります。だからこそ私はただ議員数を減らせば良いという考え方には賛成出来ません。

横浜市	人口約360万人	議員数92人	議員1人/人口約3万9千人
鎌倉市	人口約17万人	議員数28人	議員1人/人口約6千人
川崎市	人口約135万人	議員数63人	議員1人/人口約2万1千人